

国道339号線「竜泊ライン」冬季閉鎖解除と、竜泊ラインウォーキング開催に合わせて、小泊の海岸を守る会が、4月19日(金)に海岸清掃を行いました。今年も齋勝建設(株)、宝森建設(株)、島村産業(株)、(株)竹内組、(株)青南商事、(株)環境工学の計6社が参加し、マリパークや折腰内ビーチ、国道339号線の路上などのゴミや漂着物を拾い集め、海岸をきれいにしました。

濱館町長は「観光客のため、地域のために毎年ボランティアで実施いただきありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。



冬季閉鎖解除！ 竜泊ラインを歩き初め 第17回竜泊ラインウォーキング開催



絶景を横目にウォーキング



「せーのっ」で一緒にゴール



こども園こども園 園児らのダンス

17回目の開催となる竜泊ラインウォーキングが、4月20日(土)に開催されました。今年は、眺眺台からスタートのAコース(12.5km)と、坂本台からスタートのBコース(6.5km)の2コースで、合計200人以上が竜泊ラインの絶景を堪能しました。参加者たちは写真を撮ったり談笑しながらゴールの折腰内オートキャンプ場を目指しました。ゴールした後はお楽しみの抽選会。今年は、春の味覚のヤリイカやアワビ、サザエ、そして中泊町特産の津軽海峡メバルなど海の幸が盛りだくさんで、抽選番号が引かれる度に、参加者たちは歓声をあげ、楽しんでいました。

また、国道339号線「竜泊ライン」冬季閉鎖解除に合わせて、道の駅こども園「ポントマリ」でヤリイカまつりも開催され、濱館町長は「ようこそお越しいただきました。旬の海の幸がたくさん用意されています。リニューアルしたてのメバル膳もぜひご賞味ください」と歓迎のあいさつで来場者をもてなしました。こども園こども園の

園児たちによるダンスから始まり、小泊地域でとれた海産物や活ダコのかまゆで実演販売もありました。特に、旬のヤリイカは、大勢の来場者が買い求めていました。



ヤリイカ釣り体験

